

第2回がん看護学分野主催 若年性がん患者さんのための患者カフェ報告書

共催：東北次世代がんプロ養成推進プラン

がん看護学分野では令和元年12月14日、以下のプログラムを滞りなく行った。

カフェには、がん患者10名、家族1名、友人1人の参加があった。前回参加者が50%を占めた。

カフェ内容は、それぞれ話したいテーマを記入し、そのテーマに沿ったグループで、参加者が自由に語り合った。話されていた内容は、妊よう性、アピアランス、仕事、食事などであった。

参加者からは、「自分の病状しか知らない状態が続いていましたが、他のがんサバイバーの方の心の持ち方、家族との付き合い方、仕事の悩みなどを知ることができて勉強になりました。」「ソファ席、椅子席、座席風の席などあって、くつろげました。」「罹患している箇所は違いがあっても、同世代だからこそ似ている悩みや、共通の体験をしている方と直接お話しができたことで、とても元気をいただきました。あっという間に時間が過ぎてしまったような楽しく過ごすことができました。」などの声が聞かれ、大変有意義な会となった。

スケジュール

日 時：令和元年12月14日（土）10：00 - 12：00

オリエンテーション

交流

会 場：東北大学5号館2階メディシナルハブ

参加者：12名

がん患者10名(男性3名、女性7名)、家族1名(男性1名)、友人1人(男性1名)

15歳以上40歳未満にある時期にがん罹患されたがん治療中の方と家族、友人

*がんの罹患部位、性別は問わない

(スタッフ5名：がん看護学分野教員2名、がん看護専門看護師3名)

